

みんなの ひろば



※上の黒点は、題字と同じ内容を
点字で表したものです。

主 な 内 容

- 理事長就任のごあいさつ 2
- 人材育成室、パワーアップ! 3
- 経営理念・経営基本方針
- 本人活動いろいろ 4、5
～和光学園、たばしね学園、共同生活事業所「みたけの園」、松山荘、好地荘、松風園～
- [シリーズ] わたしたちの自慢④ 6
～みたけ学園、ワークなかやま、視聴覚障がい者情報センター～
- メンタルヘルスケアの取組み 7
- 平成25年度業務改善活動結果報告
- 新採用職員紹介 8

118号

平成26年7月1日
発行



生活介護事業所「ふたば」

～春の行楽～

八幡平方面へ出かけました。
日頃の行いが良いからでしょうか、とても良い天気、岩手山も
くっきり。
雄大な岩手山に皆さん、感動していました。

新理事長就任のごあいさつ

『地域からの信頼、そして地域との共創』



理事長
水野和彦

この4月から、当事業団の理事長に就任いたしました。どうぞよろしくお願ひいたします。

私は、県職員として37年間、農林・医療分野に始まり、都市計画やダム開発、若者就職対策、企業誘致、青少年国際交流などのほか、国保医療や少子高齢化対策等の保健福祉行政に携わり、震災後は発電対策に、そして先般まで秘書・広報業務、と県政全般にわたり様々な視点から仕事をさせていただきました。これらは全て、県民の方々の日々の生活に必要欠くべからざるものであり、それらが一つになって「人」としての生活が成り立っていくものであることを実感しております。地域福祉はその中でも、多くの人の一生の「幹」を支える役割を担っ

ているのではと思います。

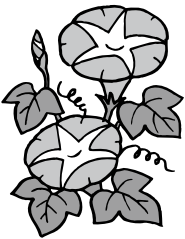
事業団の皆様には、医療・福祉担当時、各施設訪問の際お世話になりました。歴史ある当事業団は、時代の福祉課題に率先して取り組み、本県の新しい福祉の開拓者として、またリーダーとして、その多くの蓄積された力と志、そして高い専門性に裏付けられた頼もしい集団であると感じておりました。

この度、その事業団の一員として、共に仕事をする事となりました喜びを感じると同時に、知識も経験も十分でない私にとりましては、新採用の職員と同様、基本に返りつつ先々を見つめ、常に学んでいくことが大切であると考えております。4月に新採用の皆さんには、「必ず存在する理想と現実のギャップ」を常に見つめながらそれぞれの理想、さらに大きな理想の実現に向けて進んでほしいこと、「一歩後退、二歩前進の心で、常に振り返りの冷静なとき」を、必要に応じて後ろに下がる勇気」を、持つように、それを踏まえて着実に進むことを大切にしてほしいこと」をお願いしました。将来の事業団の進展に向けて、職員とともに着実に歩みを進めてまいりたいと

思います。

さて設立以来40数年を経た今、時代のニーズの大きな変化に対応すべく、「自立経営の確立」に向け、役員一丸となつて取り組んでおりますが、これまで事業団は、障がい者福祉の分野をはじめ、児童の健全育成から成人の生活支援まで、多彩なサービスと人材を蓄積してきました。今この豊富なサービスのノウハウと人材を効果的に活用していくところが、事業団の大きな強みになります。この強みを生かしながら、常に、①お客様の立場に立った視点からのサービスの提供 ②イノベーションを恐れず、社会環境・地域課題の変化に即応する事業への率先したチャレンジ ③将来の地域福祉を担う人材の育成、等地域福祉の推進の牽引役を担うよう、地域から期待されているものと思ひます。

地域から必要とされる事業団であり続けるために、当事業団は「何ができ何を担うべきか」を、職員をはじめ関係する機関、団体等の皆様と意見を交わしながら、地域と「共創」の精神で事業を展開し、地域福祉に貢献していきたいと思ひます。皆様方の御支援、御協力をお願い申し上げます。



役員・評議員のご紹介

※(新はこのたび新しく改選された理事・監事及び評議員です。)

理事及び監事

理事	水野和彦(新)
常務理事兼事務局長	小林繁春
理事	及川あつし
監事	久保田博(新)
	佐藤宏昭(新)
	千田光久
	中野信男
	根子忠美
	米田ハツエ
	三上邦彦(新)
	青山良一郎
	千葉清夫

評議員

大久保文直	紺野由夫(新)
大志田和彦	佐藤孝(新)
大森紀代美	佐藤匡仁
小川博敬	柴田一美
菊池理	高橋修
朽木正彦	千田充(新)
熊谷久	千葉寛
熊谷嘉哉	中上康治
児玉義輝	藤原誠一
近藤嘉文(新)	利府みちる(新)
今野紀子	

顧問

藤原健一

※五十音順

人材育成室「パワーアップ」

「業務アドバイザー配置」

法人の自立経営に向けて、事務局内に人材育成室を設置してから1年。人材の発掘・育成や次期管理者の育成、職制に応じた研修の実施等の機能を備え、職員一人ひとりが期待される職員像を軸に学び続けられるよう実施体制を整えてきました。そして、その機能をさらに充実させるために、この4月から業務アドバイザーを2人配置しました。

当法人の課題は目前に迫った自主自立経営であり、その前後の多数の定年退職に伴う職員構成の変動に影響されない支援力の維持であります。そのためには「支援の基本を徹底し」、「自ら学ぶ」職員集団であることが不可欠です。そこに必要な助言指導を行うのが業務アドバイザーです。人材育成室設置時から業務アドバイザーの配置を念頭に置き、昨年度内に「岩手県社会福祉事業団職員サービス提供の手引き」手にして未来」を作成し



各施設を訪問し、職員の育成、指導方法をアドバイスします。

ました。この手引書は、各施設・事業所における研修の共通テキストとして活用することはもちろん、そこで明示している支援の基本姿勢や業務遂行上のルール等を、業務アドバイザーが啓発します。具体的には、各施設・事業所に向いている取組みです。職場研修の講師を務めることもありますが、直接指導というよりは「教え方を教える」というイメージで各施設で行う研修の支援を行います。

また、業務アドバイザー2人はこの3月に当法人を定年退職した継続雇用職員です。長きに渡り当法人のみならず、岩手の社会福祉を牽引してきた人材であり、その知識・経験は計り知れません。さらに施設長経験者であることを活かし、施設運営に悩む管理者や新たに係長等の役割に就いた職員への助言等も大きな役割としています。

業務アドバイザーの配置により、人材育成室の機能は本格始動しました。自立経営後の当法人職員一人ひとりが、自らの支援に自信を持ち、互いに高め合える人材であることが目指すところだと思っています。それを支える業務アドバイザーの活躍を、期待してください。

(事務局「人材育成室」主幹兼人材育成室長 鈴木美津子)

岩手県社会福祉事業団 経営理念

岩手県社会福祉事業団は、ご利用のお客様の人間の尊厳の保持を旨として、お客様の立場に立った質の高いサービスを提供するとともに、地域福祉を推進し、全ての人が相互に人格と個性を尊重し、支え合いながら、その人らしく共に生きる豊かな社会の実現に貢献します。

岩手県社会福祉事業団 経営基本方針（行動指針）

私たちは、

- 1 常に、お客様の立場に立って考え、人権の擁護とお客様本位の質の高いサービスの提供に努めるとともに、創意工夫し、社会環境の変化や地域ニーズに即応する新たな事業の展開に挑戦します。
- 2 幅広い関係者との連携・協働により、地域福祉を推進します。
幅広い関係者と連携・協働し、福祉サービスを必要とする人が、地域社会を構成する一員として日常生活を営み、社会、経済、文化その他あらゆる分野の活動に参加する機会が与えられるよう、地域福祉の推進に努めます。
- 3 計画的に人材を育成し、学習する組織を目指します。
 - ・計画的な人材の育成に努め、法人経営と質の高いサービスの提供を担う「優しい心、高い専門性、強い責任感と自省心を持ち、向上発展する人材」の育成に努めます。
 - ・常に学習する態勢をとり、情報と衆知を集め、良い仕事をする「学習する組織」を目指します。
- 4 信頼される組織運営と経営基盤の安定・強化に向けた改革・改善を進めます。

共同生活事業所 「みたけの園」(滝沢市)

グループホームを拠点として地域で生活する皆さんにとつての大きな楽しみのひとつ、それが自治会活動です。



桜も笑顔も満開!

滝沢市、盛岡市のホーム入居者68人で組織される自治会は、総会で選ばれた役員が定期的に集まって役員会を開き、行事などの自治会活動について話し合いを行っています。皆さんが楽しめる活動を計画しようと、役員の話合いにも自然と熱が入ります。支援員はその声に耳を傾け、自治会活動に皆さんの声が活かされるように調整しながら主体的な活動を支援しています。

運動不足解消のために地域の活動センターなどを利用して定期的にバドミントンなどの軽運動を行っているほか、「納涼+夏のスイカ割り大会」や「ボウリングを楽しむながらのワイワイ忘年会」、「温泉でゆったりくつろぎカラオケで踊りまくる新年会」など、季節の行事も満載です。

先日はみたけ名物の桜並木を眺めながらの花見会がにぎやかに行われ、彩りゆたかな花見弁当を楽しんだあとは思い思いに運動をして汗を流し、大いに盛り上がりました。今後は音楽活動なども取り入れて、活動の幅を広げていきたいとのことでした。ますます楽しい活動が作っていただけるようにですね。

(生活支援員 久慈隆広)

児童養護施設 和光学園 (盛岡市)

和光学園では、幼児の会、小学生の会、中学生の会、高校生に別に分かれた「げんき子クラブ」という自治会があり、学年別に活動しています。また、グループ活動としてげんき子農園グループ、図書・新聞グループ、スポーツグループの内容別の活動があり毎年希望を募り活動しています。今回はげんき子農園の活動について紹介します。

げんき子農園グループでは、学園敷地内の畑で野菜の栽培を行っています。自治会メンバーで栽培したい野菜の希望を相談し合い、協力しながら植え付けを行います。毎年人気のある野菜といえば、キュウリとトマトです。収穫



みんなで大切に育てたキュウリ。「おいしそう〜」

してすぐに食べられるところが人気のようです。植え付けをしたら、水やりや草取りを行い、野菜の成長に触れながら収穫を楽しみにしています。収穫した野菜は、職員と一緒に調理して食べたり、学園の食事で提供しています。自分たちで育てた野菜は、格別に美味しいようです。

身近な自然に関わりながら自分たちで考え、自身の手で野菜を育てていくことで、いたわりやいのちの大切さ、食の楽しさを感じてもらえるよう、支援していきたいと思っています。

(児童指導員 長田亮)

福祉型障害児入所施設 たばしね学園 (奥州市)

たばしね学園では、利用児童の主体性や協調性を育てるため、自治会組織として「ぎずなの会」をつくり運営しています。「ぎずなの会」は入所利用する児童全員によって構成され、会長は高等部児童、副会長は中学部児童から選出し、月に一度の話し合いや朝礼の進行、誕生会の企画を行う週番活動、七夕会・節分お楽しみ会の企画運営等を行います。また、施設のサービスクラス評価委員会・給食保健委員会に児童代表として参加し、意見を伝えています。

「ぎずなの会」の話し合いは、昨年度まで年3回程の実施でしたが自治会活動のさらなる充実に向け、今年度から毎月実施しており、集団生活を送るうえで必要となるルール・マナーの確認や、生活の過ごし方などについて話し合っています。また、施設に対して日常生活に関する意見・要望を提案する場にもなっています。

支援する職員は特に、利用児童の特性や理解力に合わせて絵文字(ピクトグラム)やカードなどを活用して話し合いの内容が具体的にイメージできるように配慮しながらサポートしています。また、要望等が出やすい話し合いとなることにも心掛けて支援しています。児童の状態に応じた視覚支援など分かりやすい情報を提供すること、自身の生活を考へて発言できる環境となるよう支援していくことで、主体的に、そして伸び伸びと活動できるようになってもらいたいです。

(児童指導員 鈴木貴大)



自治会の話し合いでは、絵文字やカードを活用しています。



用する本人の、本人による、や学習活動をいいます。皆さんが主体となって行っています。事業所の活動をします。

救護施設 好地荘 (花巻市)

好地荘の自治会「みんなの会」は、利用者が生きがいのある楽しい生活を営むことを目的に組織されました。会長以下8名の役員の方を中心に、毎月の誕生会の進行を初めとして、自動販売機、公衆電話の管理、みんなの会主催の各種行事の運営等を行っています。

特に、誕生会や各種行事の運営においては、昔取った杵柄、塗装業で磨いた「書」で横断幕を作成したり、某所で磨いた「のど」を生かし、滑らかな口調での司会進行とそれぞれの得意分野をフル活用して行事を盛り上げていただいています。

4月の誕生会、歓迎会を皮切りに今年度もスタートしましたが、何よりも驚かされるのは、誕生会、歓迎会、総会等に全員の人が参加されることであり、特に3月に行われる総会において、皆さんが真剣な表情で役員の方の提案に耳を傾けております。みんなの会が組織された目的がいかに皆さんの中に浸透しているかが窺われ、自治会の一員としての自覚を垣間見る思いです。

自治会の運営の様々な面で職員の支援が必要ですが、利用者が主体的に活動できるよう、ひいてはそれが個々の自立につながるよう、今後も支援していきたいと思えます。

(副施設長 来田力)



職人の技を活かして、横断幕が完成!

本人いろいろ

障害者支援施設 松風園 (花巻市)

松風園では、自治会活動の一つとして、月1回音楽サークルを行っています。毎年4月の自治会例会会での年度の参加希望者を募り、15名程度の利用者で活動しています。花巻地区のふれあい文化祭での発表を目標としており、歌が大好き!歌ならまかせて!という熱意あふれる利用者の方々が多く参加しています。

内容は、発声練習に始まり、体操や踊りを組み入れた歌や、ベルなどの楽器を使った歌などを、講師の方のピアノに合わせて歌って楽しんでいきます。利用者主体のサークル活動ですので、職員は「みんなが自由に楽しめる雰囲気づくり」を大事に支援しています。前に出て歌ってもよし、思いのまま体を動かして歌ってもよし、和気あいあいとした雰囲気がこのサークルの大きな魅力となっています。

音楽サークルは、普段別々の日中活動を利用している利用者同士が交流できる場でもあり、あまり話す機会のない利用者とも、音楽を通して集まればあつという間に仲良しに♪。この団結力で、ふれあい文化祭では地域のみなさんに素敵な歌声をお届けするために、これからの練習に励んでいきます。

(生活支援員 藤井佐和子)



♪今日は皆で体操をしながら歌います♪

本人活動とは、施設等を利用者のための余暇活動が当法人では、利用者のさまざまな活動を今回は6つの施設紹介

救護施設 松山荘 (宮古市)



意外と難しいフライングディスク... 皆さん真剣です。

松山荘には、利用者が主体となつて活動できる行事として、地域交流行事があります。特に、ペタンク大会、夏まつり、松山祭は、例年三大行事として、地域の方々と一緒に企画、検討、準備を行い、盛大に開催する行事です。これらの行事開催の際に、中心となるメンバーは、松山荘自治会「つばさの会」の役員3名です。地域住民の方々と職員を交えた行事開催を検討する場である地域交流委員会において、活発な意見交換が行われ、例年、開催していたペタンク大会を、今年はフライングディスク大会として、6月に開催しました。

この大会には、子ども会、地域住民、老人クラブから合わせて60名もの参加があり、競技を通して交流の輪が広がりました。

行事に参加する楽しみだけでなく、自らが行事の企画や検討に参加することにより、「自分たちの希望を実現できる」という喜びを味わい楽しんでいただけたら、今後も、支援していきたいと思えます。

(生活指導員 千葉肇人)

シリーズ

わたしたちの自慢 vol.4

各事業所の「ここが自慢!!」ということを取り上げ、紹介するシリーズ。
第4回はみたけ学園、ワークなかやま、視聴覚障がい者情報センターの自慢を紹介します。

ぐんぐん育っています!

～水耕栽培～

障害福祉サービス事業所 ワークなかやま(一戸町)



LEDライト使用の水耕栽培
もうすぐ収穫♪

ワークなかやまでは、長い間眠っていた休耕地で農作業を復活させることとなり、今年度から新たに「農作業グループ」として日中活動を開始しました。

屋外の畑では、中山の園の給食の食材として納入することも視野に入れつつ、土壌に合う作物を模索しながら各種野菜を育てております。また、屋内ではLEDライトを使用した水耕栽培を試験的に行い、葉物野菜を育てています。水耕栽培の手順としては、水の入ったバットにスポンジを設置し種を蒔き、植物栽培用のLEDの付いた本体にセットし、発芽を待ちます。発芽したら定期的に液肥を加え、30〜40日程度で収穫となります。現在は小松菜、水菜などを育てており、試験的に様々な葉物野菜を育てる予定です。今後は空いた作業室を活用し水耕栽培の規模を徐々に拡大しながら、一定量の収穫を目指し、将来的には季節を問わず無農薬の葉物野菜を食材として出荷できればと考えております。

(生活支援員 田中真樹)

地域の身近な存在に!!

福祉型障害児入所施設 みたけ学園(滝沢市)

みたけ学園の自慢は、地域の障がい児支援の拠点として、地域に根差したサービスを展開していることです。平成26年4月1日現在、みたけ学園に入所利用されている方は36名ですが、約70%が盛岡圏域の出身となっています。児童生徒は28名で、そのうち11名は厨川小学校、厨川中学校、盛岡みたけ支援学校高等部、盛岡峰南高等支援学校にそれ

ぞれ通学しており、公用車による通学支援を行って、地域における就学の継続を支えています。また、当学園で実施する短期入所事業、日中一時支援事業も施設近隣に在住する方の利用が多くなっています。さらに、みたけ学園では近年の在宅志向から、放課後等デイサービス、日中一時支援事業の利用ニーズが高くなっており、児童デイサービスセンター「ほけつと」と「くれよん」の3か所を設置経営しております。現在、176名の利用者にご契約いただき、毎日、ほぼ定員いっぱい

ニーズを満たす閲覧室

岩手県立視聴覚障がい者情報センター(盛岡市)

岩手県立視聴覚障がい者情報センターは、盛岡駅西口そばの通称「アイーナ」の4階にあります。岩手県立図書館とフロアを共にし、開館日・開館時間も同じです。このようなスタイルは全国でも珍しく、岩手県だけとのことで、自慢の一つといえるのではないのでしょうか。より多くの方が利用しやすいよう、開館時間は9時〜20時、休館日は毎月の最終平日のみとしています。

もう一つの自慢は、点字図書閲覧室です。一般的に点字・録音図書は書庫に配架され、図書の貸出しは利用者が電話・fax・メールで申込み、それを受けて図書館が郵送で貸出しをする、という流れで行っています。しかし、当センターはというと、自由に自分で図書を選ぶことができる、全国でも数



広く、明るい閲覧室。
パソコンも自由にご利用いただけます。

少ない開架式の点字図書閲覧室です。利用者には、予め読みたい図書が決まっていなくても、所狭しと書架に並ぶ図書の中から、気軽に自分に合った図書を選ぶことができます。交通アクセスも抜群の場所にある当センター。時間を忘れ、思い切り本と触れ合いませんか。

(情報支援員 吉田和恵)



児童デイサービスセンター「くれよん」
調理実習でお団子作り「上手にできるかな？」

(副主幹兼業務係長 内田忠孝)

メンタルヘルスケアの取り組み

今までの取組み

近年、労働者のストレスは拡大傾向にあり、各事業所が積極的にメンタルヘルスケアに取り組みることが重要な課題となっています。

当事業団においても、平成20年度からセルフケアや職場環境の向上等を目的に、「メンタルヘルスセミナー」を開始、22年度には、事業所内の支援体制図の作成に着手、23年度には、厚生労働省「労働者の心の健康の保持促進のための指針」に従って、「岩手県社会福祉事業団における心の健康づくり計画（23年度から25年度）を策定し、次の(1)～(3)に取り組みました。

- (1)全職員に対する教育研修と情報提供
セルフケア研修の実施（一般職員対象）、部下からの相談の対応、労務管理、職場復帰援等をテーマとした研修（管理者・副施設長・係長等員対象）を実施しました。
- (2)メンタルヘルス推進担当者の育成
各施設に推進担当者を配置し、事業場外養成研修の受講や、年2回の推進担当者会議における情報共有及び協議、職員へのメンタルヘルス関連情報の提供、日常的な職員への声がけ等を行うなど、職場のメンタルヘルス支援体制の調整役を担いました。

(3)ストレス及び職場環境調査の実施

職員の自分のストレスへの気付き、職場内のストレス状況の把握を目的に、24年度から中央労働災害防止協会による職員メンタルヘルス調査を実施しました。個人のストレス状況から明らかになった法人全体のストレス状況は、「仕事の負担」は全国平均並み、「職場の支援」は平均を上回り良好であるとの結果でした。

調査後、施設長を対象に実施した学習会において、当事業団は「仕事の量」や「仕事の進め方」を改善することで、職員のストレス発生を防ぎ、職場環境の改善を図られるということを学びました。

今後の取組み

- さらに充実した支援体制を目指し、26年度「心の健康づくり計画」においては、
- ①セルフケア研修（ストレスへの適切な対処法）、管理者・副施設長・係長等職員研修（職員のメンタルヘルスに係る相談への対応等）の実施
 - ②支援体制を充実させるための推進担当者配置の検討や役割の見直し
 - ③職員メンタルヘルス調査後の職場環境改善活動の実施
- に取り組み、今後も心身ともに健康で働き続けられる職場環境を目指し、継続した取り組みを行ってまいります。
- （事務局 主事 小原茉智子）

平成25年度 業務改善活動結果報告

平成25年度の業務改善活動は、各施設等から37テーマの活動報告がありました。入賞結果は次のとおりです。

- 最優秀賞
地域生活支援センター「歩夢」
「清掃作業を見直そう」
- 優秀賞
いわて子どもの森
「団体対応手順を見直そう」
「ニーズに応じたご利用のために」
療育センター 看護部
「短期利用者のサービス向上に取り組みよう」
- 優良賞
こぶし
「口腔ケアに取り組みよう」
療育センター 障がい者支援部
「生活のしづらさをみんなで改善しよう」



水野理事長（右）から表彰を受ける藤田所長（左）

今年度も業務改善活動が始まっていますが、業務改善活動は、施設長が主導して推進する活動です。問題や課題、ニーズの把握、改善策は、現場に近いほどよく見えるということを意識しながら、皆で取り組みたいものです。

（事務局 主事 山崎竜史）

事業団駅伝部 100km駅伝6位!

快挙!

6月8日（日）に開催された、いわて銀河100kmチャレンジマラソンの駅伝の部（男女混合の部）に岩手県社会福祉事業団からA、Bの2チームが参加しました。参加チーム数全39チームの中、Aチームは10位以内、Bチームは完走を目標に、各チーム7人が必死で襷をつなぎました。結果はAチームが6位、



襷をつないだ仲間と感動のゴール!!

Bチームが25位と予想以上の好成績を残すことができました。たくさんの方の応援をいただき、ありがとうございました。

（事務局 主事 菊池雄介）

平成26年度

新採用職員紹介



療育センター
 看護部長
 おと べ りょう こ
乙部 陵子
 「健康」を意識し、太極拳
 初級に挑戦中です。

和光学園
 児童指導員
 よし だ ゆりの
吉田 優里乃
 常に笑顔で元気な明るい職員
 を目指します！

たばしね学園
 児童指導員
 さ と う まき こ
佐藤 真紀子
 子ども達のアイドルになれる
 よう頑張ります。

たばしね学園
 児童指導員
 ち ば しょう た
千葉 将太
 子ども達の支えとなるよう
 頑張ります。

みたけ学園
 児童指導員
 ふじ さわ ひろ い
藤澤 広 偉
 溢れる若さでがんばります!!

みたけ学園
 児童指導員
 やま した ゆ み
山下 祐美
 明るく元気に、楽しいことが
 大好きです！

好地荘
 生活指導員
 きく ち みき こ
菊池 未来子
 「自分に負けない」がモッ
 トーです。

松風園
 生活支援員
 じん ゆう き
神 友 樹
 よく学び、よく笑い、よく
 食べます。

松風園
 職業指導員兼生活支援員
 まつ だ なる み
松田 成美
 笑顔と明るさを生かして頑張
 ります。

共同生活事業所「じゃんぷ」
 生活支援員
 みう ら てる ひと
三浦 照仁
 おっとりしていますが、やる
 事はやります！

やまゆり
 生活支援員
 さ かの や か
佐野 野 花
 自分らしさを大切に、元気に
 頑張ります。

やまゆり
 生活支援員
 たく ち なお き
田口 那 宙
 好奇心だけは旺盛です。よろ
 しくお願いします。

りんどう
 生活支援員
 いわ さき かず や
岩崎 和也
 知らない事がわかった時、
 幸せを感じます。

つつじ
 生活支援員
 いわ ぶち か おり
岩 渚 香 織
 マイペースなのでゆっくり
 頑張りたいです。

やさわの園
 生活支援員
 なく い あきら
名久井 晃
 何事にも前向きに、毎日笑
 顔！

療育センター
 主事
 こ せき ゆう じ
小 関 有 司
 ストイックでマイペース

療育センター
 小児科医師
 はやし ゆう こ
林 祐 子
 新しい事をどんどん吸収し
 ていきたいです。

療育センター
 臨床心理士
 にっ た さ き
新 田 紗 希
 猫と読書と美味しいものが
 大好きです。

療育センター
 理学療法士
 ふく だ ゆき ひろ
福 田 之 紘
 明るく元気な中年男性

療育センター
 理学療法士
 い とう な な
伊 藤 那 奈
 踏まれても負けない雑草の
 ような人間です。

療育センター
 言語聴覚士
 さくら い たか お
櫻 井 孝 男
 実は、頑張り屋です！

療育センター
 作業療法士
 えん どう み さき
遠 藤 未 咲
 毎日を明るく元気に！笑顔で
 頑張ります。

療育センター
 看護師
 さ さ き ちづ こ
佐々木 千鶴子
 よろしくをお願いします。

療育センター
 看護師
 おし かや み さ
芦 萱 ミ サ
 前向きに明るく

療育センター
 生活支援員
 てら さき ひろ こ
寺 崎 宏 子
 毎日学びながら、元気に楽
 しく頑張ります。

療育センター
 臨床心理士兼相談支援員
 いし おか のり こ
石 岡 紀 子
 信頼される職員を目指し、
 頑張ります。

療育センター
 臨床心理士兼相談支援員
 なか むら ま お
中 村 茉 央
 出会いにワクワクしながら
 頑張ります！

療育センター
 言語聴覚士兼相談支援員
 ほそ かわ えつ こ
細 川 悦 子
 笑顔を絶やさず元気いっぱい
 頑張ります。